

## 小玉 晃 (バリトン)

京都市立芸術大学大学院修了後、渡澳。ヴィーン国立音楽大学リート・オラトリオ科卒業。ドイツ歌曲をモーア、ホッター、シュライヤー、アーリング、ヘフリガー、ベリー他に、発声を宮廷歌手M.ニコロヴァに、バロック音楽をM.ファン・エグモントに学ぶ。

ベートーヴェン『第九』、バッハ『マタイ受難曲』などソリストを数多く務める他、オーケストラを指揮しながらソロを歌うなど演奏の可能性を広げている。理論に裏付けられた発声指導は高く評価されており、指導依頼も多い。

J. S. G. 国際歌曲コンクール第1位。青山音楽賞、松方ホール音楽賞大賞他受賞。混声合唱団スコラ・カントルム神戸代表。京都混声合唱団、サントリー1万人の第九、ヴォア・ドゥ・マン他指導者。大阪音楽大学、同志社女子大学講師。日本ドイツリート副会長。関西二期会会員。小玉晃の音楽学校主宰。日本の歌を集めたセカンドアルバム『うたの絵本』をリリース。

ホームページ [a-kodama.com](http://a-kodama.com)



## 安藤 るり (ソプラノ)

愛知県出身。京都市立芸術大学卒業、同大学院修了。卒業、修了に際し音楽学部賞、京都音楽協会賞、大学院賞を受賞。ヴィーン国立音楽大学オペラ科修士課程を最優秀の成績で修了。第50回ドヴォルザーク国際声楽コンクールファイナリスト及び審査員特別賞。第4回 Vissi D' Arte 国際オペラコンクール第3位(1位なし)、ロシア大使館文化賞受賞。2012年、ドイツ・ブラウンシュヴァイク州立歌劇場と契約しストラヴィンスキー「ナイチンゲール」タイトルロールを歌いデビュー。京都市交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、Sinfonietta Baden などオーケストラとの共演も多く、コロラトゥーラ・ソプラノとして多くのオペラやコンサートに出演する傍ら、マーラー「交響曲第4番」、R.シュトラウス「4つの最後の歌」等オーケストラ歌曲のほか、J. ブラームス「ドイツ・レクイエム」、バッハ、モーツアルトなどの宗教曲ソリストとして出演を重ねている。

## 丸山耕路 (ピアノ)

伊賀市桐ヶ丘出身。

伊賀市立青山中学校、関西文化芸術高等学校を経て大阪音楽大学に入学。同大学より最優秀賞を授与され首席で卒業後、ロームミュージックファンデーションの奨学生として渡独。

ドイツ国立デトモルト音楽大学を首席で入学、研鑽を積み、国立シュトゥットガルト音楽演劇大学に在籍。ヨーロッパ各地で演奏活動を行った。

これまでに、日本音楽コンクール第2位、高松国際ピアノコンクール特別賞、飯塚新人音楽コンクール第1位、クールシュベール音楽アカデミー音楽賞ほか多数の賞を受賞。

東京交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団、テレマン室内オーケストラ、ザ・カレッジオペラハウス管弦楽団など多くのオーケストラと共に活動するほか、リサイタル、NHK-FM出演など活動を広げている。歌曲の伴奏では、美しい音と作品への深い解釈から音楽誌などで高い評価を得ており、多くの歌手との共演やレコーディングなども行っている。現在、大阪音楽大学講師。



## 寺岡 清高 (ナビゲーター)

早稲田大学第一文学部卒業。桐朋学園大学を経て、ヴィーン国立音楽大学、イタリア・シエナのギニアーナ音楽院で学ぶ。1997年同音楽院より「フランコ・フェラーラ大賞」を授与され、1年間ジャンルイジ・ジェルメッティのアシスタントとしてロンドン・コヴェントガーデン、ミュンヘン・フィル等に同行し研鑽を積む。これまでに指揮を高階正光、カール・エステルライヒ、ウロシュ・ラヨヴィッチ、湯浅勇治、カルロ・マリア・ジュリーニ、ヨルマ・パヌラ、ネーメ・ヤルヴィの各氏に師事。

2000年ミトロプロロス国際指揮者コンクール優勝。以降、ヴェニスのフェニーチェ歌劇場管弦楽団、サンクト・ペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団、オランダ放送管弦楽団、ヴィーン室内管弦楽団、イギリス室内管弦楽団を始め、イタリアを中心にヨーロッパ各国のオーケストラへ客演。日本では2001年に大阪交響楽団を指揮してデビュー。これまでに札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、九州交響楽団等を指揮している。2004年1月大阪交響楽団正指揮者に就任。2011年4月以降は常任指揮として、2019年8月まで足かけ15年間、ヴィーン世紀末のロマン派音楽を積極的にとりあげ続け、とりわけ2013年6月の第176回定期演奏会における「オール ハンス・ロット プログラム」は大きな反響を呼び、同年の大坂文化祭賞を受賞した。

ヴィーン在住。

©木村 譲